

ヤクモ家具製作所（株）

承継を契機とした自社オリジナル製品の開発・販路開拓と生産性向上

事業者概要

- ・創業・事業承継者 代表取締役 寺本大友（37歳）
- ・従業員 10名
- ・所在地 出雲市斐川町坂田605

支援団体

- ・斐川町商工会
- ・日本政策金融公庫
- ・国、島根県、しまね産業振興財団

経緯

2010年に松江市八雲町から斐川町に移転。自然素材を多用した本物志向の家具を求める30代～40代の消費者をターゲットとしたうえで、「長く使いたい・使える」を基本コンセプトに、クラフト感が感じられる製品開発と販路開拓策の再検討が必要となっていた。現代表は大学院を卒業後、後継予定者として未経験であった木工加工の世界に挑戦。まずは営業、Web受注対策などを中心にに関わり、設計・機械加工の経験を重ねた後、2017年3月に代表者に就任した。

取組内容

製品開発・生産性向上・販路開拓の取組を一体的に進めることとした。

家具製造小売業の強みとして、優れたデザイン性や耐久性などの消費者ニーズを商品開発に取り入れるとともに、ネット販売を主としながらも、2011年に開設した神戸ショールームを改装し、店舗販売・情報発信も強化することとした。具体的には、生産性の向上を図ると同時に、強度を高め、デザイン性の高い複雑形状の製品を加工するために、この業界では、ほとんど導入されていない高性能の工作機械を入れた。この際、県の経営革新計画の認定を受け、国や県の助成金、日本政策金融公庫の融資支援を受けた。

また、県の事業承継助成金を活用して、販路開拓とブランドイメージの向上を図るため、ショールームの整備や商品カタログの刷新、店舗・オフィスなど業務向けを想定した広告宣伝を強化することとした。こうした一連の取組には、斐川町商工会が事業計画策定支援を行った。現在、CAD/CAMができる設計技術者が現社長のみであることから、人材育成が課題となっている。

